

令和5年度 Digital Innovation City 協議会

第3回DIC協議会総会 資料

2023/12/20

本日の議事

1. 令和5年度DIC協議会スケジュール
2. PT・検討会の開催状況
3. PT・検討会によるイベント・実証等の実施状況
4. 広報活動の実施状況
5. 今後の予定

1

**令和5年度
DIC協議会スケジュール**

令和5年度 Digital Innovation City 協議会のスケジュール

取組		令和5年（2023年）										令和6年（2024年）		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
協議会	総会	第1回 書面総会	第1回			第2回 書面総会		第2回			第3回			第4回
	連絡会		第1回				第2回				第3回			第4回
PT・検討会	会議		第1回		第2回		第3回			第4回	議題2	第5回		第6回
先端技術の実装に向けた取組	ライブ・エンタメ	イベント・実証プロジェクトの選定	承認	実証事業の準備と実施							議題3	成果報告/分析・考察	最終報告	
	モビリティ・物流			サービス実装に向けた課題解決アプローチの推進										
	防犯・防災													
	環境・サステナビリティ													
	自動運転（公道、公園内）	公募		選定	実証事業の準備と実施							成果報告/分析・考察	最終報告	
	データプラットフォーム構築	仕様検討	公募	調査・検討							成果報告/分析・考察	最終報告		
DIC社会実装支援窓口	イベント・実証プロジェクトの検討や課題解決のフォロー、新規スタートアップ向けPR・受入調整													
5G普及促進事業	5G専門家派遣・通信キャリア等との調整・DX化補助金との連携													
DX推進補助金	募集開始	協議会・5G普及促進事業との連携による制度周知・支援												
新たな交流・共創に向けた広報	カンファレンス等でのPR	スタートアップ向けカンファレンス等での出展・PR								東京バイエSG国際発信イベントとの連携に向けた調整				
	HP/SNSでの周知	DIC協議会HPの刷新、SNSを活用した活動PRの推進（随時）										議題4		

2

PT・検討会の 開催状況

第3回ライブ・エンタメPT 開催結果（概要）

日時	2023/11/06（月） 1800-2000
場所	シティサーキット東京ベイ
参加者	(株) フジテレビジョン、森ビル（株）、有識者、（株）トムス、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none">● デジタルツインを使った「EVカート体験」による賑わい創出に関する実証実験について、応募者数、体験者数、アンケート結果の現状について説明した。● 主な質疑応答 ・特段なし。● シティサーキット東京ベイの施設や実証企画の視察等を行った。

第4回ライブ・エンタメPT 開催結果（概要）

日時	2023/12/06（水） 1500-1700
場所	フジテレビ本社
参加者	（株）フジテレビジョン、森ビル（株）、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、有識者、事務局
議事	主な意見
将来像の議論 について	<ul style="list-style-type: none">● 将来像に関する個別ディスカッション結果について説明した。● 主な質疑応答<ul style="list-style-type: none">・以前から、海浜公園の活用という議論があるが、実施したい取組や、実現できなかった取組について教えて欲しい。<ul style="list-style-type: none">➢ 海上に物理的なものを設置するための調整にあたり、非常に骨が折れる。水辺に飲食店を配置し人を呼び込むことは海外ではいくらでも行っており、集客上の王道となる施策である。規制緩和を通じて、そういった基本的なことを実現するだけでも、賑わいが創出されると考える。➢ 人を惹きつけるコンテンツを呼び込まないといけない。そのコンテンツで、場所の価値を高めて、エリア一体でエリア特有のコンテンツを作ればよい。DICとしては、事業者が継続的に入ってくる仕組みづくりを行うのがよい。事業者が、海浜公園でビジネスをするための事業計画を描けるように、規制緩和や補助金を提供できればよい。

第4回モビリティ・物流PT 開催結果（概要）

日時	2023/11/29（水） 1500-1700
場所	日本科学未来館、オンライン（Teams）併用
参加者	産業技術総合研究所、日本科学未来館、有識者、日本工営（株）、事務局
議事	主な意見
将来像の議論 について	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来像に関する個別ディスカッション結果について説明した。 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・リピーター獲得の課題が抽出されていないとのことであるが、まずはエリアへの誘引やエリア内の回遊性を高めた上で、リピーターも増えていくというイメージをもってもよいと思った。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ リピーターの獲得については、課題がないわけではない。モビリティ・物流という切り口でまだ課題として提起されていないだけである。エリアへの誘因は、ライブ・エンタメのコンテンツの話として議論されることが多く、リピーターについては、データプラットフォーム構築検討会の中で来訪者の属性分析等を活用して、分析しようとしている。
今年度の自動運転 実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自動運転移動サービス実現に向けたサービスモデル構築プロジェクト」の実施結果について説明した。 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・レベル4の車両をお台場で実装するための制度や認可上の課題は何か。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 道路交通法、道路運送法、道路運送車両法という3つの切り口がある。道路運送車両法上レベル4の認可をとっていても、車両の管理場所や遠隔監視の拠点、人員の面でクリアする必要がある。これをクリアするためには、エリア内の様々な関係者と連携して議論を進める必要がある。

第4回防災・防犯PT 開催結果（概要）

日時	2023/12/06（水） 1500-1700
場所	フジテレビ本社
参加者	(株)フジテレビジョン、森ビル（株）、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、有識者、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の実証実験に関する進捗状況について説明した <ul style="list-style-type: none"> ・TIF2023デジタル防災避難訓練 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・一般の方に訴求力のあるアイドルを活用したイベントを通じて、防災や避難に関する関心喚起や理解促進を行うことは重要である。防災や避難訓練に関するイベントなど実施しても、人を惹きつけることは難しい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ アイドルを通じて、人々の防災への関心が高まればよい。パートナーの企業とも、ゲームやアニメコンテンツを軸に防災についての関心を喚起できると話している。
将来像の議論について	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来像に関する個別ディスカッション結果について説明した ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・実際の発災時は、デジタル技術というよりも、人が避難の誘導を行う形が現実的であるとのことであるが、デジタル技術を用いて、DICとして貢献できる部分はあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 災害状況を各参加者に提供して、各参加者が具体的な行動を考えるゲームを開発できると面白いと思った。

第3回環境・サステナビリティPT 開催結果（概要）

日時	2023/12/04（月） 1500-1700
場所	乃村工藝社本社ビル
参加者	（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、産業技術総合研究所臨海副都心センター、日本科学未来館、有識者、乃村工藝社、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の実証実験に関する進捗状況について説明した <ul style="list-style-type: none"> ・音のAR体験『oto rea』による「学び×遊び」新体験システムの開発 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・1日何名体験できるのか。公に募集をかける想定か <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1日あたり20名、2日で40名体験できる予定である。一般に募集をかける予定はなく、関係者に声かけする予定である。 ・今回の実証では、ユーザーに端末を貸与することであるが、将来的にはユーザー個々人の端末を使用する想定か。最終的にサービス実装する場合は、集客施設に対して展開するのか、それとも直接個人に展開するのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 端末のバッテリーマネジメントが課題となっており、各ユーザーの端末のバッテリーの状態は異なるので、今回の実証では、端末を貸与することにした。実証を通じて、どの程度バッテリーに負担がかかるのか検証し、将来的に個々人の端末で使用できるように、対策等を考えたい。ビジネスモデルについては、to Bとto Cどちらもあり得ると考えている。今後、個人の端末がよいのか、端末を貸し出す方がよいのか、多角的に判断できるデータが取ればよい。
将来像の議論について	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来像に関する個別ディスカッション結果について説明した ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・一般都民の目線で、環境やサステナビリティの文脈で、臨海副都心エリアに期待することは、自然環境、脱炭素、水辺環境整備などが想定されると考える。そのような分野で取組を行うことで、本エリアの価値向上に繋がるのではないか。

第4回DPF構築検討会 開催結果（概要）

日時	2023/11/28（火） 1300-1700
場所	docomo R&D OPEN LAB ODAIBA
参加者	(株)フジテレビジョン、森ビル(株)、(株)東京臨海ホールディングス、(一社)東京臨海副都心まちづくり協議会、東京都立産業技術研究センター、産業技術総合研究所臨海副都心センター、日本科学未来館、有識者、(株)NTTドコモ、事務局
議事	<p style="text-align: center;">主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ● データプラットフォーム（DPF）の目的の整理結果、事例調査結果、臨海副都心エリア内の事業者へのヒアリング結果、簡易検証案について説明した。 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・データプラットフォーム系の企業は、現在業績を伸ばしている。データプラットフォームを構築した事例に加え、データプラットフォームの成功事例を調べると面白いと感じた。 ・エリア外の事業者が、エリア内で事業を実施するために必要な情報を取得できるデータプラットフォームに仕立てて、エリア外事業者を想定利用者とするれば、マネタイズできると考える。立ち上げのための初期投資はある程度エリア内事業者で持ちつつ、ランニングコストはエリア外事業者でカバーし、エリア外から新しいサービスが入り込むことで、地域経済の活性化にも繋がると考える。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ データプラットフォームがあることにより事業を行うインセンティブが生じたという事例は見つからなかった。ある事例では、市民やエリア内の事業者のデータを利用することについて、事前に許諾がとられており、エリア外の事業者がデータを活用できるものもあったが、実際にどのくらい活用されていて、どのくらいの効果が出ているのかは不明である。
今年度の進捗報告について	
今後の検討方針について	<ul style="list-style-type: none"> ● DPF委託事業の現状及び今後の方針について <ul style="list-style-type: none"> ・DPF構築に向けて検討しているものの、国内外の事例やエリア内事業者のニーズ調査の状況等を踏まえると、PFの構築よりもデータの利活用を進める方が良いかもしれない。

3

PT・検討会による イベント・実証等の 実施状況

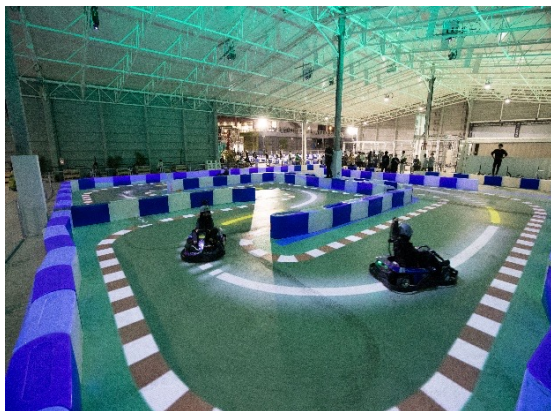
令和5年度に実施するイベント・実証等

- 令和5年度にPT・検討会において実施するイベント・実証等は下表の通り。
- 「ライブ・エンタメPT」及び「自動運転」の実施結果については次頁以降にて詳述する。

イベント・実証等		事業者	時期	状況
ライブ・エンタメ	デジタルツイン・VR・EVカート等を活用したバーチャル&リアル融合型エンタメの実証・開発	トムス	①10/28-11/10 ②翌3月頃	① プロジェクションマッピングを活用したEV体験を実施済 ② デジタルツインとVRを活用した「バーチャル・フォーミュラE」の体験イベントを予定
モビリティ・物流	AIスーツケースによるインクルーシブな移動の実証	日本科学未来館	9/14-25 実施済 (ART BAY TOKYOの開催に合わせて実施済)	✓ ART BAY TOKYOの開催時期に合わせて、実証が完了。
	PMO等による先進観光サービスの実証	Le DESIGN、LOOVIC		
防災・防犯	TIF (TOKYO IDOL FESTIVAL) 2023 デジタル防災避難訓練	フジテレビジョン	8/4 実施済	✓ TIF2023において実証が完了。
環境・サステナビリティ	音のAR体験『oto rea』による謎解き型・街の魅力再発見プログラムの開発と実証	乃村工藝社	来年2月末頃	✓ 実証を翌2月末に実施予定。
データプラットフォーム	DICデータプラットフォームの構築に向けた要件定義等	NTTドコモ	9/12-翌3/29	✓ データプラットフォームの目的の整理、ニーズ調査、事例調査を完了し、要件定義や簡易検証を実施中。
自動運転	臨海副都心における自動運転技術を活用したサービスの構築 (①公園内 ②公道タクシー ③公道バス)	日本工営 (プロモータ)	①6/30-7/9 ②11月頃 ③翌2-3月頃	① 6/30-7/9に実証を実施済 ② 11/19-21,24に実証を実施済 ③ 関係者協議や合同現地踏査等を予定

デジタルツイン・VR・EVカート等を活用したバーチャル&リアル融合型エンタメの実証・開発

日時	2023/10/28 – 11/10
場所	シティサーキット東京ベイ
実証内容	<ul style="list-style-type: none">・ プロジェクションマッピング技術を使った新しい「EVカート」の体験イベントを実施・ 走行ライン、アクセル/ブレーキポイントをプロジェクションマッピングによりコース上に再現し、映像と音楽に合わせて楽しみながら走行技術を学ぶ実証を行う。・ 体験後にアンケートを実施し、料金体系設定、システムの修正・調整等、体験価値の評価を行い、早期実装化を目指す。
実証結果	<ul style="list-style-type: none">■ 参加者(小学生限定)・ 436人 (応募枠 : 560人、応募総数 : 855人)■ 実証意義(アンケート結果)・ 体験者の93%以上が「とても楽しかったor楽しかった」、92%以上が「また乗りたい」と回答・ 保護者、付き添い者の84%以上が「友人や家族に勧めたい」と回答
今後の展開	2024年3月30日に臨海エリアで実施される「FIA フォーミュラE世界選手権」と連携し、デジタルツイン技術とVR技術を使った新しい「バーチャル・フォーミュラE」の体験イベントを実施。イベント期間中はシティ・サーキットTOKYO BAY、大型半球体VR装置を貸し切り、無料で体験していただく。体験者にはアンケートを実施し、体験価値の評価（発見）、改善を行い、早期実装化を目指す。



臨海副都心における自動運転技術を活用したサービスの構築 ②公道

日時	2023/11/19(日)、20(月)、21(火)、24(金)の計4日間 ※11/24は関係者試乗のみ
場所	臨海副都心エリア 公道
実証内容	<p>①自動運転車両（JPN TAXI、自動運転レベル2）の技術的検証</p> <p>□ 東京テレポート駅・日本科学未来館・ヒルトン東京お台場 南側を停車ポイントとした自動運転の技術的検証</p> <p>②社会受容性の検証</p> <p>□ 臨海副都心エリアにおける移動ニーズ・自動運転車両の社会受容性、車内での動画広告（臨海副都心エリア内の商業施設やホテル等の紹介動画）</p>
実証結果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者 <ul style="list-style-type: none"> ・のべ140名（複数回・複数区間を乗車された場合も1区間1名としてカウント） ● 自動運転車両の技術的検証 <ul style="list-style-type: none"> ・現在分析中 ● 社会受容性の検証 <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転車両に対して好意的な意見が多数
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回の実証実験を通して、タクシータイプ車両の移動ニーズを把握することができた。今後、臨海副都心エリアの自動運転移動サービスの事業化に向けて検討を実施。



4

広報活動の 実施状況

X (旧Twitter)

DIC協議会公式Xアカウント：**DIC協議会@DICprojectTokyo**

- 第2回総会場で頂いた①アイコン画像の再考、②アカウントと公式Webサイトとのリンク付け、③アカウントの紹介文の作成、④東京都の公式なアカウント化（ブルーバッチの取得）についての指摘を踏まえ、以下の通り対応。

← **DIC協議会**
96件のポスト

①DIC協議会のアカウントであることが一目でわかるアイコンに変更。

④ブルーバッチの取得に向けて手続中

③アカウントの紹介文の作成。

②公式Webサイトとのリンク付け

実証に関する情報発信

- フォロワー数：**45人**（12/18日時点）
← 前回報告時：21人
- 投稿数：**101件**（12/18日時点）
← 前回報告時：52件
- 最大エンゲージメント数：**約2,800**
← 前回報告時：約1,100

【お台場海浜公園でのビーチアートプロジェクトに関する投稿】

DIC協議会 @DICprojectTokyo · 10月18日

11/18から、お台場海浜公園で国内最大級のビーチアートプロジェクトがスタート！ XRやAIなど最新テクノロジーが織り成す神秘的な体験が楽しめます！お台場の海辺に美しい月が浮かび上がる光景は必見！お見逃しなく！ #concordiaodaiba

2 16 29 2,797

スタートアップ向け広報イベント

- 12/11、スタートアップ支援機関である「TOKYO UPGRADE SQUARE」と連携し、スタートアップを対象に、DIC協議会の概要及び臨海副都心エリアの課題に関する説明、その課題解決に向けた連携可能性についてディスカッションするイベントを実施。



当日の様子



行政職員来館DAY～東京都港湾局～

＼行政連携に向け、まずは行政職員と話してみよう！／

TOKYO UPGRADE SQUAREでは、スタートアップ×行政の交流を促進するイベントとして行政職員と繋がる「行政職員来館DAY」を定期的に実施しています🍀

今回のゲスト行政は「東京都港湾局」

臨海副都心の開発やにぎわいの創出に向けてさまざまな施策を推進している東京都港湾局。当日は、港湾局が参画しているDigital Innovation City (DIC) 協議会のメンバーが来館予定です！

DIC協議会は、臨海副都心への来訪者の増加、回遊性の向上、リピーターの獲得など、臨海副都心が抱える課題の解決に向けて、スタートアップ等が開発する新たなサービスやアイデアを活かせる仕組みづくりを進めております。

事業提案だけでなく、まずは自社サービスに関するフィードバックをもらったり、行政課題についてヒアリングをしたりする場としても活用OK。実際に行政職員と出会うこの機会に行政課題解決の提案への理解を深めていただけたら嬉しいです。



5

今後の予定

直近の会議の予定

■ 総会

- 第4回DIC協議会総会 : 3月中下旬 ※日程調整中

■ PT・検討会

- ライブ・エンタメPT (第5回) : 2月中 ※日程調整中
- モビリティ・物流PT (第5回) : 2月中 ※日程調整中
- 防災・防犯PT (第5回) : 2月中 ※日程調整中
- 環境・サステナビリティPT (第4回) : 2月下旬 ※日程調整中
- データPF構築検討会 (第5回) : 2月上旬 ※日程調整中

お問い合わせ先

DIC協議会事務局

担当者 : 新間・齊藤・稲葉
メールアドレス : dic@jp.kpmg.com